

第2期横浜市自殺対策計画における素案骨子（案）について

令和6年度から令和10年度までの5年間を計画期間とする「第2期横浜市自殺対策計画（以下「第2期計画」という。）」の策定に向け、「自殺対策庁内連絡会議」を庁内検討組織として位置づけるとともに、「自殺対策計画策定検討会」において検討を進めています。このたび、計画素案の骨子についてまとめましたので、御報告します。

1 計画の法的根拠と位置づけ

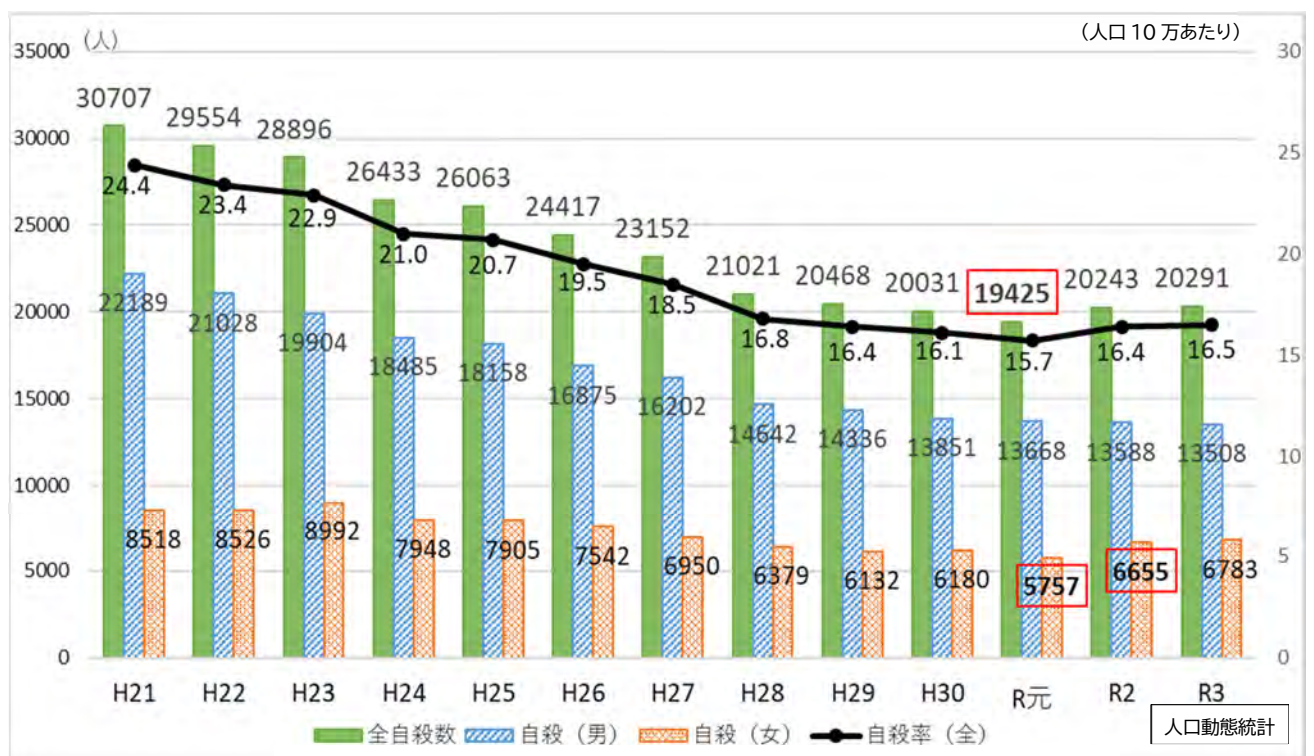
自殺対策基本法第13条第2項に基づく市町村計画で、国が示す「自殺総合対策大綱（令和4年10月改定）」等を踏まえ、本市の自殺の実態に即した対策の充実を図りながら、総合的かつ効果的な自殺対策を推進するための計画として位置づけています。

2 自殺者数の推移

(1) 全国的な特徴

厚生労働省の人口動態統計では、全国の自殺者数は近年、全体としては減少傾向にあり、令和元年には2万人を下回りました。

しかし、令和2年は女性が前年から大きく増加したことにより、11年ぶりの増加となり、令和3年もさらに前年を上回っています。



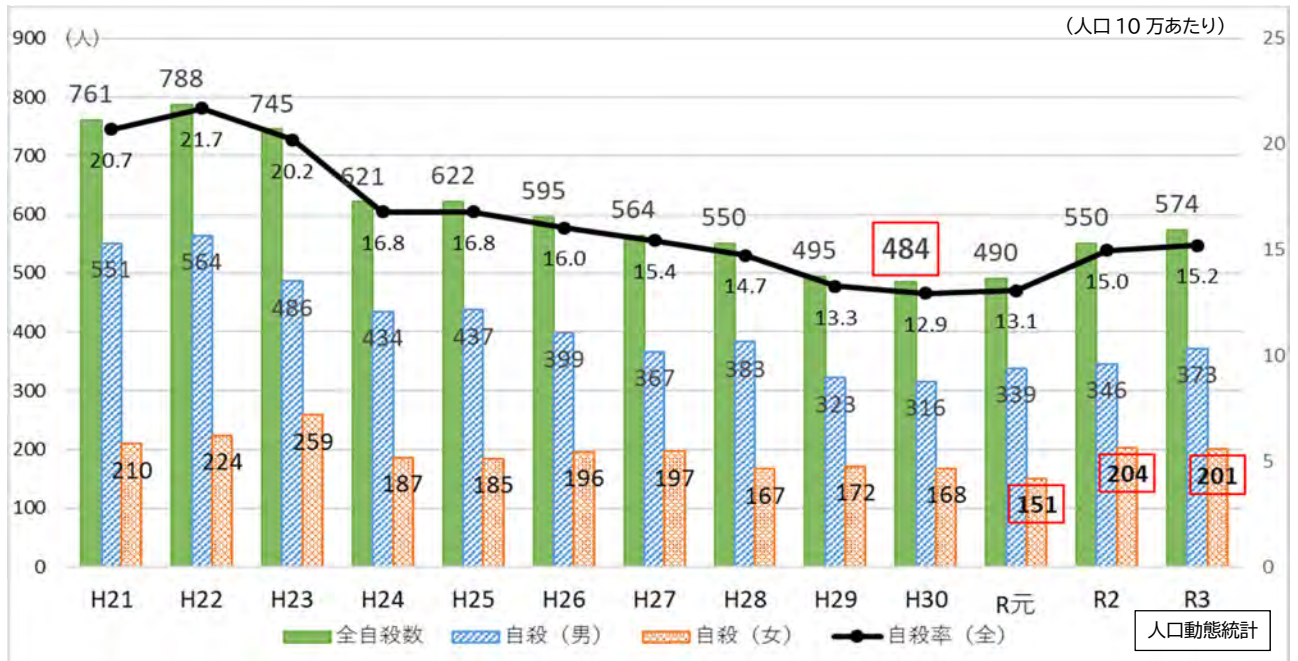
グラフ1

自殺者数・自殺死亡率の年次推移(全国)

(2) 本市の特徴

平成30年には自殺者数が484人と、ピーク時の約6割まで減少しました。

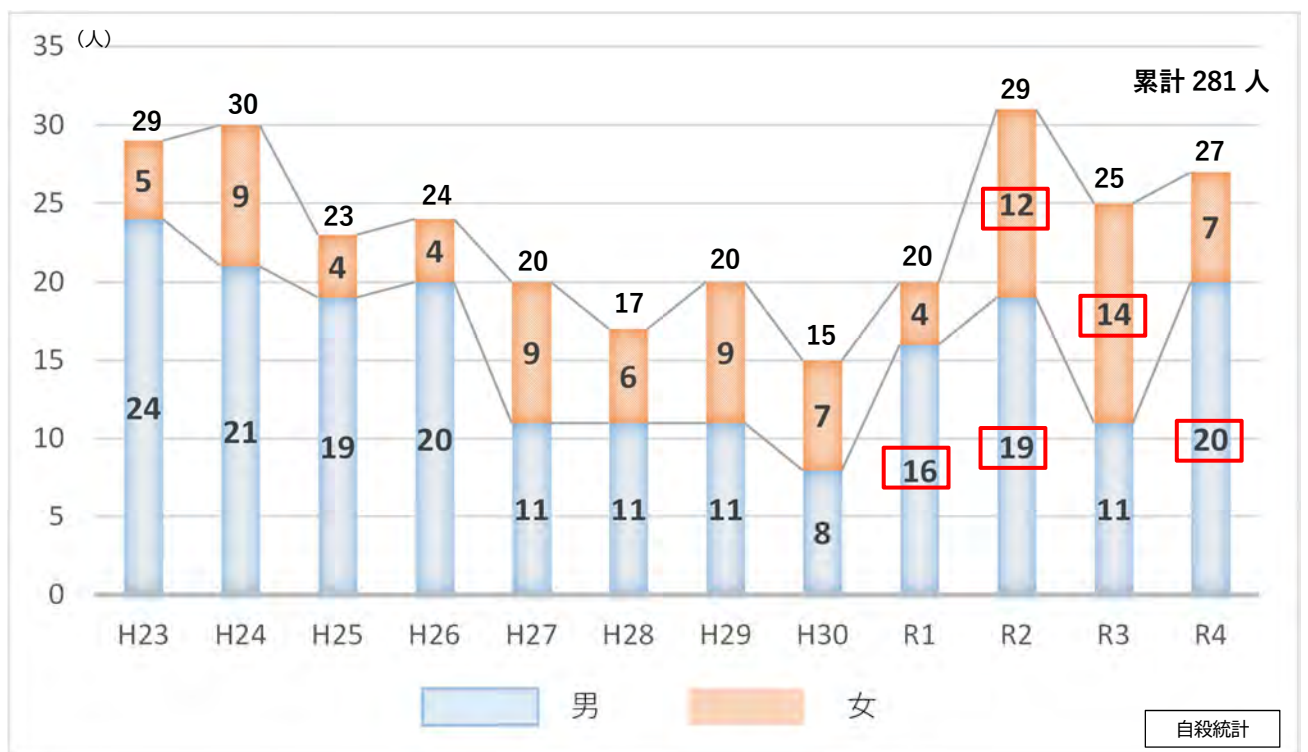
しかし、令和元年以降は増加しています。特に、令和元年と比較して、令和2年、3年の女性の自殺者の増加が目立っていますが、男性の自殺者数も増加しています。



グラフ2 自殺者数・自殺死亡率の年次推移(横浜市)

平成23年から令和4年までの児童・生徒・学生の自殺者数は、累計で281人となっており、その約半数が大学生となっています。

令和元年以降、男子の自殺者数が高い水準となっています。また、女子の自殺者数は、令和元年と比較して令和2年、3年の増加が顕著な状況です。



グラフ3 児童・生徒・学生の自殺者数年次推移(横浜市)

3 素案の構成案

第 1 章 計画策定の趣旨
・ 計画の趣旨や位置づけ、計画期間、進行管理等
第 2 章 横浜市の現状と課題等
・ 本市における自殺の状況 ・ 横浜市こころの健康に関する市民意識調査の結果（別紙）
第 3 章 横浜市の自殺対策における基本認識と取組の方向性
・ 基本認識、基本方針 ・ 基本施策、重点施策、関連施策 ・ 数値目標：本市中期計画を踏まえた数値等を設定

4 重点的取組

近年の本市における自殺者数の状況等を踏まえ、3つの取組を重点的取組として位置づけます。

(1) こども・若者への支援の強化

相談窓口情報等の分かりやすい発信、インターネット相談枠の拡充、学校出前講座の充実等

(2) 女性への支援の強化

新たな連携先の確保、ネット相談の案内先の充実等

(3) 自殺未遂者支援の強化

未遂者支援実施体制の充実、支援者向け支援ツールの作成等

5 協議・検討経過

- ・ 自殺対策庁内連絡会議〔令和5年1月〕
- ・ よこはま自殺対策ネットワーク協議会〔令和5年1月〕
- ・ 精神保健福祉審議会〔令和5年3月〕

6 策定スケジュール（予定）

令和5年	5月	常任委員会（素案骨子）
	5月～9月	素案の検討・作成
	9月	常任委員会（素案）

※議会基本条例に基づく議決事件に該当するか御判断いただく予定です。

	10月～11月	市民意見募集の実施
	10月～令和6年1月	原案の検討・作成
令和6年	2月	常任委員会（原案）

※議決事件に該当する場合、市会第1回定例会に議案を提出します。

	3月	計画策定
--	----	------

令和4年横浜市こころの健康に関する市民意識調査(結果概要)

市民の自殺に対する考えなど、第2期横浜市自殺対策計画の基礎とするため、「横浜市こころの健康に関する市民意識調査」を実施しました。

【調査概要】

対象者：16歳以上75歳未満の横浜市民 5,000人（住民基本台帳からの無作為抽出による）

調査方法：郵送配布、郵送・インターネット回答

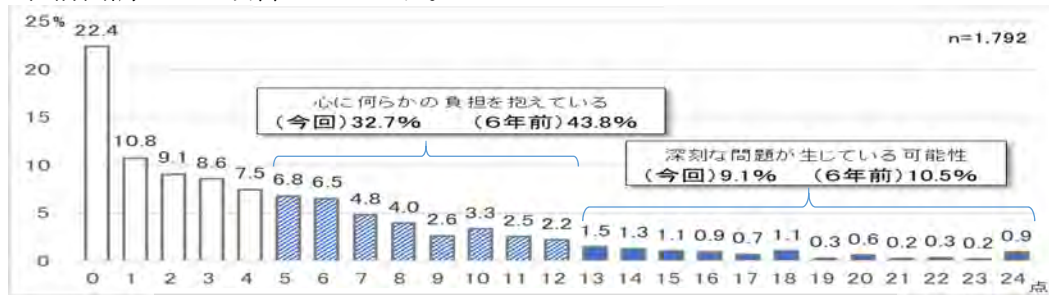
調査期間：令和4年8月～9月

有効回答数：1,832票（有効回答率36.6%）【内訳：郵送1,065票、インターネット767票】

1 こころの健康状態(K6尺度得点)

こころの健康に関し、過去30日の状況について6項目の質問に回答してもらい、これを点数化することで、うつ病・不安障害、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表しました。5点未満は、問題なし、5～12点で不安・抑うつ傾向あり、13点以上で重度な不安・抑うつ状態とされています。

単純集計結果では、こころに何らかの不安を抱えている割合、深刻な問題が生じている可能性がある人の割合は、前回調査から改善しています。

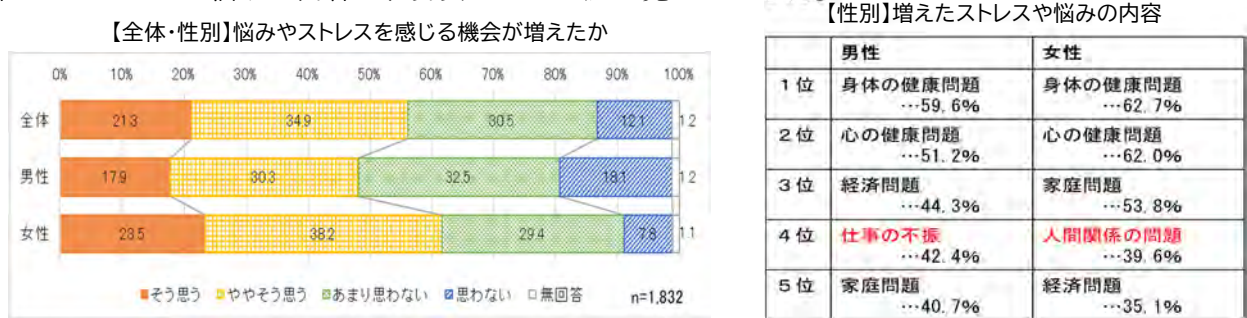


【全体】こころの健康状態

2 新型コロナウイルス感染症の影響によるストレスを感じる機会の変化

新型コロナウイルス感染症の影響で、悩みやストレスを感じる機会が増えた（「そう思う」「ややそう思う」と回答した人は、全体の56.2%（1,029人）、男性の48.2%（361人）、女性の61.7%（652人）でした。

増えたストレスや悩みの内容は、男女によって差が見られました。



3 自殺念慮と自殺未遂の状況

回答者の約4人に1人が「本気で自殺したい」と思ったことがあり、そのうちの28.6%は未遂歴があると回答しています。

